指定統計第87号　平成19年10月1日

秘 就業構造基本調査調査票

◎15歳以上の各人について記入してください

この調査票は、統計以外の目的には使用しませんから、ありのままを記入してください。

総務省統計局

○記入には必ず黒の鉛筆又はシャープペンシルを使用し、間違えた場合は消しゴムできれいに消してください。
○答えを記入する欄が○の場合は、当てはまる○を●のようにぬりつぶしてください。
○文字で回答する場合は、点線の枠内に記入してください。

＜数字の記入例＞　（別添４）　3

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

1 氏名・男女の別及び配偶者（妻又は夫）の有無
・配偶者の有無は届出の有無に関係なく記入してください

氏名

男　女
未婚　配偶者あり　死別　離別

2 世帯主との続き柄
・世帯主の配偶者の祖父母・兄弟姉妹は　それぞれ「祖父母」・「兄弟姉妹」に含めます

世帯主　世帯主の配偶者　子　子の配偶者　孫　世帯主の父母　世帯主の配偶者の父母　祖父母　兄弟姉妹　他の親族　その他

3 出生の年月
・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください

明治　大正　昭和　平成　西暦　　年　　月

4 教育
・現在　学校に在学しているかどうかについて記入した上で　矢印に従って記入してください
・「卒業」の人は最終卒業学校（中途退学した人はその前の学校）について記入してください
・予備校などは　ここでいう学校には含めません

在学中　卒業　在学したことがない
小学・中学　高校・旧制中　専門学校　短大・高専　大学　大学院

5 1年前にはどこに住んでいましたか
・東京都区部及び政令指定都市の区の間で移動した場合は「同じ都道府県内の別の市区町村」とします
・「他の都道府県」の場合は　都道府県名も書いてください

現在の住居　同じ市区町村内の別のところ　同じ都道府県内の別の市区町村　他の都道府県　外国

都道府県

6 あなたはふだん何か収入になる仕事をしていますか
・ここで「仕事をしている」とはふだん仕事をしており今後もしていくことになっている場合をいいます
・収入になる仕事には　家業（農業を含む）の手伝いや内職も含みます
・家事には　育児・介護・看護などを含みます
・通学には「4 教育」欄の記入にかかわらず　予備校・専修学校・各種学校に通っている場合も含めます

仕事をしている人：仕事をおもにしている／家事がおもで仕事もしている／通学がおもで仕事もしている／家事・通学以外のことがおもで仕事もしている

仕事をしていない人：家事をしている／通学している／その他

・10　1日あるいはその前　数日間たまたま仕事をしても　「仕事をしていない」としますが　季節的な仕事や病気などでたまたま仕事を休んでいる場合は　「仕事をしている」とします
・育児休業や介護休業などのため仕事を一時的に休んでいる場合は　「仕事をしている」

A　ふだん仕事をしている人

A 1 勤めか自営かの別等
・「臨時雇」とは　雇用契約期間が1か月以上1年以内の人　「日雇」とは1か月未満の人をいいます

雇われている人のうち：常雇／臨時雇／日雇
会社などの役員
自営業主：雇人あり／雇人なし
自家営業の手伝い
内職

A 1の2 勤め先における呼称
・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは労働者派遣法に基づく人をいいます
・デパートの派遣店員　派遣警備員などは派遣元の事業所における呼称について記入してください

正規の職員・従業員／パート／アルバイト／労働者派遣事業所の派遣社員／契約社員／嘱託／その他

A 1の3 自分で事業を起こしたのですか

はい／いいえ

A 2 勤め先・業主などの経営組織・名称及び事業の内容
（1）経営組織
・「官公庁など」の場合は部課名まで書いてください
・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく書いてください

個人／会社／合同会社／相互会社／株式会社／有限会社／官公庁など／その他

（2）名称
（3）事業の内容

A 3 本人の仕事の内容
・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく書いてください

A 4 勤め先・業主などの企業全体の従業者数
・本社・支店・工場なども含めた**従業者**総数（パートなども含む）**について**記入してください

1／2～4／5～9人／10～19人／20～29人／30～49人／50～99人／100～299人／300～499人／500～999人／1000人以上／官公庁など

A 5 この仕事の1年**間**の就業日数**及び**1週間の就業**時間**

（1）

50／50～99／100～149日／150～199／200～249日／250～299日／300日以上

（2）**増減**
否か
・この仕事について1年未満の人は　**最近の状**態をもとにして1年間の見込日数について記入してください
・ふだん残業している場合はそれも含めて記入してください

不規則だけ／だいたい規則的

（A 6へ）

（3）1週間の就業時間

15時間未満／15～19時間／20～21時間／22～29時間／30～34時間／35～42時間／43～45時間／46～48時間／49～59時間／60～64時間／65時間以上

A 6 この仕事からの1年間の収入又は収益（税込み）
・この仕事について1年未満の人は1年間の見積額について記入してください
・自営業の場合は　売上高から必要経費を差し引いた営業利益について記入してください

収入なし／50万円未満／50～99万円／100～149万円／150～199万円／200～249万円／250～299万円／300～399万円／400～499万円

（第2面A 7へ）

500～599万円／600～699万円／700～799万円／800～899万円／900～999万円／1000～1499万円／1500万円以上

（第2面A 7へ）

おもな仕事について（仕事を休んでいる人は　休んでいる仕事について記入してください）

B　ふだん仕事をしていない人

B 1 あなたは何か収入になる仕事をしたいと思っていますか
・来春　学校卒業後でなければ仕事につかないという人は「思っていない」です

思っていない

（B 9へ）

B 2 どうのです。

その他／健康を維持したい／社会に出たい／時間に余裕ができた／知識や技能を生かしたい／必要が生じた収入を得る／を卒業した／している

B 3 しのようつきたおもな

について、「調査票のかた』を参考にして

仕事の種類にこだわっていない／その他（保安職業など）／事務職／管理的職業／専門的・技術的職業／サービス職業／営業・販売職／運輸・通信職／建設・労務／製造・生産工程

B 4 どのようなかたちで仕事をしたいのですか
（おもなもの一つにマーク）

その他／内職／契約社員／起こしたい自分で事業を／家業を継ぎたい／派遣社員／事業所の労働者派遣／アルバイト／正規の職員・従業員

B 5 その仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか
・以前に探していて　その結果を待っている場合も「探している」とします

何もしていない／開業の準備をしている／探している

（B 7へ）

B 6 仕事を探したり　開業の準備をしていないのはどうしてですか
（おもなもの一つにマーク）

その他／学校以外で通学や資格取得などの勉強をしている／急いで仕事につく必要がない／高齢のため／病気・けがのため／自信がない／知識・能力にありそうにない／希望する仕事が見つからなかったが／家族の介護・看護のため／育児や通学のため／適当な仕事がありそうにない

（B 8へ）

B 7 その仕事を探したり開業の準備をしている期間はどれくらいになりますか

1か月未満／1か月以上　　年　　か月

B 8 仕事があればすぐつくつもりですか

わからない／すぐにはつくつもりではない／すぐつくつもり

（第2面B 10へ）

B 9 収入になる仕事をしたいと思っていないのはどうしてですか
（おもなもの一つにマーク）

特に理由はない／その他／仕事をする自信がない／ボランティア活動に従事している／学校（幼稚園を除く）以外で通学や資格取得／育児のため／家族の介護・看護のため／家事（育児・介護・看護以外）のため／高齢のため／病気・けがのため／通学のため

（第2面B 10へ）

この調査票は機械にかけますので汚さないでください

調査員記入欄	調査区符号	世帯番号	世帯員番号	世帯人員（世帯主の調査票のみ記入）	5欄の都道府県番号
	□□－□□□	□□□－□□□	□□	15歳以上の合計　□□人	□□

F ○　Y ○

この調査票は機械にかけますので 汚さないでください

A ふだん仕事をしている人 （第1面から続いて記入）

おもな仕事について（続き）

A 7 あなたはこの仕事を今後も続けますか
・同じ会社で配置や勤務地を変わりたい場合は「この仕事を続けたい」とします
この仕事を続けたい / この仕事のほかに別の仕事もしたい / ほかの仕事に変わりたい / やめてしまいたい 仕事をさがす
（A 7の4へ） （A 8へ）

A 7の2 この仕事で就業時間を増やしたいと思っていますか
今のままでよい / 増やしたい / 減らしたい
（A 8へ）

A 7の3 どうしてほかの仕事に変わりたいのですか （おもなもの一つにマーク）
一時的についた仕事だから / 収入が少ない / 事業不振や先行き不安 / 定年または雇用契約の満了のため / 時間的・体力的に負担が大きい / 生かしたい知識や技能をそこなう / 余暇を増やしたい / 家事の都合 / その他

A 7の4 どのようなかたちで仕事をしたいのですか （おもなもの一つにマーク）
正規の職員・従業員 / アルバイト・パート / 労働者派遣事業所の派遣社員 / 契約社員 / 自分で事業を起こしたい / 家業を継ぎたい / その他

A 7の5 仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか
探している / 開業の準備をしている / 何もしていない

A 8 この仕事にはいつついたのですか
・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください
大正 昭和 平成 西暦 年 月

A 9 どうしてこの仕事についたのですか （おもなもの一つにマーク）
失業していた / 学校を卒業した / 収入を得る必要が生じた / 生かしたかった知識や技能を生かしたかった / 社会に出たかった / 時間に余裕ができた / 健康を維持したい / 仕事が見つかったよりよい条件の / その他

おもな仕事以外の仕事について

A 10 あなたはおもな仕事のほかに別の仕事もしていますか
していない / 会社などの役員 / 届かれている人 / 自営業主 / 自家営業の手伝い / 内職
（している（ある時期だけしている場合も含む））
（A 12へ）

A 11 勤め先・業主などの事業の内容
・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく書いてください

A 12 1年前は何をしていたのですか
仕事をしていた / 家事のかたわらにした / 通学など / その他
仕事をおもにしていた

A 13 現在のおもな仕事につく前に何か別の仕事をしていたことがありますか

B ふだん仕事をしていない人 （第1面から続いて記入）

B 10 1年前は何をしていましたか
仕事をしていなかった：家事 / 通学 / その他
仕事をしていた：仕事をおもにしていた / 家事・通学などのかたわらにしていた
（C 欄へ）

B 11 今までに何か仕事をしていたことがありますか
ある （C 欄へ） / ない （D 欄へ）

C 前の仕事について

C 1 前の仕事をいつやめたのですか
・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください
昭和52年（1977年）以前 / 昭和53年（1978年）以後
昭和 平成 西暦 年 月
（C 8へ）

C 2 どうして前の仕事をやめたのですか （おもなもの一つにマーク）
定年のため / 雇用契約の満了のため / 病気・高齢のため / 結婚のため / 育児のため / 家族の介護・看護のため / その他
労働条件が悪かった / 自分に向かない仕事だった / 収入が少なかった / 一時的についた仕事だから / 事業不振や先行き不安 / 会社都合・事業所閉鎖のため / 人員整理・勧奨退職のため

C 3 前の仕事の勤めか自営かの別等
・「臨時雇」とは 雇用契約期間が1か月以上1年以内の人 「日雇」とは1か月未満の人をいいます
届かれていた人のうち：常雇 / 臨時雇 / 日雇
自営業主 / 内職

C 3の2 勤め先における呼称
・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは 労働者派遣法に基づく人をいいます
・デパートの派遣店員 派遣警備員などは派遣元の事業所における呼称について記入してください

C 4 勤め先・業主などの事業の内容
・『調査票の記入のしかた』を参考にして詳しく書いてください

C 5 本人の仕事の内容
・『調査票の記入のしかた』参考にして詳しく書いてください

6 業主などの従業者
1人 / 2～4人 / 5～9人 / 10～19人 / 20～29人 / 30～49人 / 50～99人 / 100～299人 / 300～499人 / 500～999人 / 1000人以上 / 官公庁など

7 い
1か月未満 / 1か月以上
年 か月

8 最初の現在の仕事又は前の事と別
・通学のかたわらにしたアルバイトなどはここでいう「最初の仕事」とはしません
はい（現在の仕事とも前の仕事とも別）
いいえ：現在の仕事が「最初の仕事」 / 前の仕事が「最初の仕事」 / まだ「最初の仕事」についていない
（D 欄へ）

9 「最初の仕事」にはいつついたのですか
・該当する元号又は西暦について記入した上で年及び月を書いてください
大正 昭和 平成 西暦 年 月

10 「最初の仕事」の勤めか自営かの別・勤め先における呼称
・「労働者派遣事業所の派遣社員」とは 労働者派遣法に基づく人をいいます
・デパートの派遣店員 派遣警備員などは派遣元の事業所における呼称について記入してください
雇われていた人のうち：正規の職員・従業員 / アルバイト / 労働者派遣事業所の派遣社員 / 契約社員 / 嘱託 / その他
自営業主：雇人なし / 雇人あり / 会社などの役員
内職 / 自家営業の手伝い
（D 欄へ）

D 訓練・自己啓発について

D この1年間に仕事に役立てるための訓練や自己啓発をしましたか
しなかった
（E 欄へ）

D の2 訓練や自己啓発の種類
（行ったものすべてにマーク）
（勤め先が実施したもの）
（自発的に行ったもの）
・うち公的助成のあったもの
自学・自習 / 通信教育の受講 / 勉強会・研修会への参加 / 習会・セミナーの聴講 / 講座の受講 / 専修学校・各種学校の講座の受講 / その他
（E 欄へ）

E 9月末1週間（9月24日～30日）に仕事をしたかどうかの別

・9月末1週間（9月24日～30日）に少しでも仕事をしたかどうかについてふだんの状況にかかわらず記入してください
・仕事とは 収入をともなう仕事をいい自家営業（個人経営の商店や農家など）の手伝いや内職も含めます
・育児（介護）休業にともなう給付金をもらうことになっていても勤め先から賃金・給料をもらうことになっていない場合は「仕事を休んでいた」とはしません
（『調査票の記入のしかた』参照）

仕事を少しもしなかった人のうち
仕事を休んでいた：病気・けがのため / 育児のため / 家族の介護・看護のため / 休暇のため / その他
仕事を探していた
通学
家事：育児 / 家族の介護・看護 / 育児・介護・看護以外
その他（高齢者など）
家事などのかたわらに仕事
通学のかたわらに仕事
おもに仕事
（世帯主は F 欄へ その他の人は記入おわり）

F 世帯について（世帯主のみ記入してください）

F 1 世帯の収入の種類
・世帯全体の収入について記入してください
（おもなもの一つ）
（その他該当するものすべて）
事業収入：農業収入 / その他の事業収入
内職収入
家賃・地代
利子・配当
年金・恩給
雇用保険
仕送り
その他
賃金・給料

F 2 世帯全体の年間収入（税込み）
100万円未満 / 100～199万円 / 200～299万円 / 300～399万円 / 400～499万円 / 500～599万円 / 600～699万円 / 700～799万円 / 800～899万円 / 900～999万円 / 1000～1249万円 / 1250～1499万円 / 1500～1999万円 / 2000万円以上

F 3 15歳未満の世帯人員
15歳未満の合計 人
0歳 / 1歳 / 2歳 / 3歳 / 4歳 / 5歳 / 6歳 / 7歳
8歳 / 9歳 / 10歳 / 11歳 / 12歳 / 13歳 / 14歳

ご協力ありがとうございました

電話 （ ）